

\$\$関小だより\$\$



令和 5 年 4 月 20 日発行
第 4 号
文責：教頭

関小だよりは関小学校 HP でもご覧いただけます。
<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/seki/>



授業参観の時間割について

「関小だより」第 3 号でお知らせしました授業参観につきまして、当日の時間割をご案内します。

明日は運動場を駐車場としてご利用になれますが、運動場内の事故等にはじゅうぶんご注意ください。運動場が満車状態になる可能性も想定されますので、近隣の方につきましては、徒歩または自転車でお越しいただけると、とても助かります。自転車は体育館玄関付近に駐輪していただき、鍵の管理もお願いします。

また、5 限終了後に 1・2 年生は帰りの会、3～6 年生は 6 限目の授業がありますので、たいへん恐縮ですが、参観後、保護者の方の速やかなご移動をお願いします。

時限	校時	学年	1年		2年	3年		4年		5年		6年	特別支援学級				
		組	1組	2組		1組	2組	1組	2組	1組	2組		あさがお	なのはな	ひまわり	すずらん	たんぼぼ
5限目	13:35-14:20	教科	国語	算数	道徳	国語	道徳	社会	国語	算数	社会	社会	各特別支援学級担任から連絡のあった時間割です。				
		場所	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室	教室					

学校経営の基本方針

昨夜の「第 1 回 学校運営協議会」におきまして、本年度の学校経営の基本方針が承認されました。裏面に掲載させていただきます。

「特色ある学校」に以前は「そろえる」というキーワードで書かれていたものが、「ととのえる」に変更されています。みんな同じに「そろえる」というより、それぞれの特性に応じた形を大切にしながら、全体として「ととのえる」ことを目指すという意味あいになります。

また、「中学校区の協働による人権教育の推進」とありますが、本年度は関中学校・加太小学校だけでなく、亀山高校とも連携し、人権教育に力を入れていきます。



毎朝の登校について

現在、バス登校の児童の到着に合わせて児童玄関の開錠は 7:40 頃とさせていただいております。また、職員のいない状態でのけがやトラブルを避けるために、8:00 以降に運動場で遊ぶことを認めています。各ご家庭のご都合もあるかと思いますが、バス登校以外の児童につきまして、特別な事情のある場合を除き、あまり早くからの登校を避け、早くても 8 時到着くらいでご準備いただけるとありがたいです。

令和5年度 学校経営の基本方針



学校教育目標

亀山市立関小学校

じぶんで なかまと ふるさとから 学ぶ
夢豊かに しあわせに
～地域の「ひと・もの・こと」にふれ、なかまと共に、自ら取り組む子の育成～

めざす子ども像

- 自ら学ぶ子
- 自分もなかまも大切にする子
- 郷土を愛する子

特色ある学校づくり

- 地域の教育資源を生かした学習活動の推進
関宿から学ぶ「ふるさと学習」
認・小・中が綿密に連携した活動
- 「ととのえる」活動を軸にした生活力の向上
～あいさつ・整理整頓・言葉遣い等～
- 中学校区の協働による人権教育の推進
権利の主体者としての意識の育成
協働的な学習活動の創出
教職員研修等の活性化及び指導力向上

めざす学校の姿

『一人ひとりの子どもがかがやく学校』

- ◎地域の「ひと・もの・こと」から学び、家庭や地域と協働する学校
- ◎一人ひとりが大切にされ、安心して生活できる学校（いじめや差別を絶対に許さない）
- ◎教職員が深い愛情と高い使命感を持って教育実践に取り組む学校
- ◎整った学習環境の中で、子どもたちが生き生きと活動する学校

《学校教育目標具現化のための重点目標》

- (1) 地域の特長を生かし、保護者・地域に開かれた信頼される学校づくりに努めます。(地域連携力)
- (2) 確かな学力の向上を目指し、学習指導の充実・改善を図ります。(学習力)
- (3) 基本的な生活力の向上や自分の健康と安全を守る力を育てます。(健康・生活力)
- (4) 人と人とのつながりを大切にしながら、人権尊重の風土を根づかせます。(人権力)
- (5) 一人ひとりのもてる力を高めるインクルーシブ教育を推進します。(支援力)
- (6) 教職員の働きやすい環境づくりに取り組みます。(学校力・教師力)

子どもにつけたい5つの力

- ① ねばり強く、主体的に取り組む力
- ② 基礎的・基本的な学力、体力
- ③ 聴く力、自分の思いを表現する力
- ④ 謙虚で、思いやりをもって人と関わることができる力
- ⑤ 高い規範意識をもって行動する力

校内研修

話したい ききたい 書きたい
～自分の思いを表現し、
子どもの言葉で伝え合える授業づくり～